

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日平成28年2月25日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673100105
法人名	有限会社 タンポポ福祉館
事業所名	グループホーム タンポポ福祉館
所在地	鹿児島県鹿児島市春山町1855番7 (電話) 099-278-7110
自己評価作成日	平成28年1月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年2月10日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

\* 木村外科内科さんが連携病院となっており24時間いつでも対応して下さり、緊急対応が速やかにスムーズに行う事ができ利用者様ご家族様共に安心して暮らす事ができます。  
 \* 家庭的な雰囲気や常に心がけ利用者が自分らしく楽しく生活できるように職員も常に笑顔で接し、介護者としての質の向上に日々努力しています。  
 \* 理念・ケアプランに沿ったケアを行っています。  
 理念は毎日申し送り時に職員全員で復唱しています。  
 ケアプランに沿って個々にケアチェック表を毎日記載しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は、敬老会やクリスマス会などの事業所行事に多くの地域住民が参加したり、定期的にボランティアで歌や踊りの交流会が行なわれている。小学生との交流で肩もみや折り紙・似顔絵などを描いている。中・高校生の体験学習の受け入れなども行い、日常的に地域との交流を行っている。  
 ・天気の良い日は布団を干したり、掃除の徹底で、清潔な生活を保持できるよう支援し、感染症対策にも配慮している。  
 ・災害対策として、定期的に避難訓練を実施している。訓練には運営推進会議の参加もあり助言も活かされている。  
 ・職員は勤務年数も長く離職者も少ない。管理者は職員育成に力を入れ、各種研修等への出席を奨励し、職員の働く意欲を引き出している。職員も利用者が張り合いや喜びのある生活を過ごせるように意欲的である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を施設内数ヶ所に提示し申し送りの際唱和を行い職員全員で理解し理念に基づいて日々のケアを行っている。	地域との関連性を踏まえた理念を玄関や事業所内に掲示し、パンフレットにも掲載している。昼の申し送り時に唱和し、会議等で確認し、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域のボランティアの方々に定期的に歌や踊りハーモニカ演奏等の演目を披露して貰ったり、地域の中高生の体験学習を受け入れたり利用者さんとの交流を図っています。	事業所行事の敬老会やクリスマス会などに多くの地域住民が参加したり、定期的にボランティアで歌や踊りの交流会が行なわれている。小学生との交流で肩もみや折り紙・似顔絵などを描いている。中・高校生の体験学習の受け入れなども行い、日常的に地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	施設での行事等に地域の方々、ボランティアの方々に参加して頂いた際ふれあい、コミュニケーションによって認知症に対する理解を深めて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員、ご家族に参加して頂き、2ヶ月に1度定期的に開催しています。施設の状況報告をし意見交換を行い助言ご指導を頂き職員全員で共有してサービスの向上に活かしています。</p>	<p>会議は定期的に行っている。事業所の状況や外部評価の報告等を行い、地域包括支援センター職員から介護保険制度の見直しや地域でのケアについての助言等があり、出された意見は、職員全員で共有しサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>認定調査時情報の提供をしている。市の相談員派遣事業の受け入れで訪問指導をして頂いています。また市主催の研修に参加させて頂いています。</p>	<p>市の担当者とは書類更新時や必要に応じて相談や情報を交換してアドバイスを貰っている。介護相談員の受け入れも行っている。市主催の研修会にも積極的に参加している。生活保護の担当者とも連絡し合っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束につながるおそれがある事例等の情報をミーティングで話し合い拘束しないケアを徹底するように努めています。</p>	<p>定期的にマニュアルを中心に、研修会を実施している。事例検討などで職員の共通認識を図り、言葉の場合も含め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関の施錠については、幹線道路に面しているため、職員の手薄の時は安全のための施錠をすることもあり、家族へ説明し、了解を得ている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修、内部研修により虐待防止の勉強をして職員間で共有することで防止を努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修に参加し研修報告書提出し、内部研修で職員全員理解できるよう、勉強会を開いています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時契約の前に重要事項説明や重度になった時の指針や利用契約書について利用者やご家族様が納得していただけるよう、書面を持って十分な説明を行っています。退去時も同じく十分な説明をしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議にご家族に参加頂き、意見を発表する場を設けました。面会時に要望意見等ある場合は意見箱を設置してあり意見を入れて頂くようにし、職員もケアをしながら利用者からの要望があった時は直ぐに職員間で情報を共有し運営に反映できるよう努めています。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会や家族会・電話の時に意見を出してもらう工夫をしている。月1回は便りや状況報告をしている。花見を兼ねた家族会などでコミュニケーションを図り、話しやすい雰囲気大切にしている。出された意見、要望等は、職員で話し合い運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者が常日頃の会話や意見を職員から聞き、代表者と共有し運営に反映できるよう努めています。</p>	<p>毎月のミーティングや施設内研修の時、意見や提案を聞いている。ケアに関することや利用者家族のこと・入浴介助の2人体制の要望など具体的な改善に反映している。気づきメモの用紙を貼付し、職員間で共有している。管理者は、日頃から職員とのコミュニケーションを図り、反映を図るよう心がけている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は常日頃の勤務状況の把握を行い、年に数回職員と面談を実施し意見希望を確認し職場環境の整備に努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スキルアップを図り外侮研修に積極的に参加できるよう取り組んでいます。研修後が報告書を提出、内部研修にて内容を職員全員が共有できるよう勉強しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協会の開催する研修やイベントに参加し交流やネットワークづくり等行って質の良いサービスが提供できるよう取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービスを開始する前に管理者ケアマネ担当職員ご家族本人でカンファレンスを行いアセスメントし背景を知った上でニーズ望む暮らしを知りケアプランを作成しています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービスを開始する前に主治医の意見を聞き看護師家族本人でカンファレンスを行い、家族のケアにも力を入れています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人ご家族の思いを尊重し必要と思われるサービスを検討し優先順位を決め最も適したサービスの提供を心掛けています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の意見を尊重し決定権は自己判断としている。本人の得意な事できる事を引き出し、自分を出せる場を作って行けるようにしています。「ありがとう」の言葉を忘れない心はいつも感謝の気持ちです。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の意思決定のもと負担を強いられるご家族の状態を考慮しながら関係を築いています。毎月生活状況報告書を送付し普段の状況を知って貰い安心できるよう支援しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族、知人、お友達の面会を通じ思い出の写真、思い出話等楽しく談笑されています。家族と一緒に墓参りに行ったりなじみの理美容室へ行ったり外食されたり思い思いの場を楽しんでおられます。	馴染みの店でのお茶タイムや2ユニット間の交流で話をしたり、馴染みの美容室に行ったり、車椅子の利用者には出張してもらっている。家族の協力で外出や外食・墓参・理美容院の利用などを支援している。家族や友人知人の訪問を奨励し、継続的關係が途切れないよう働きかけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しないよう声かけを行い人の集う場所にお誘いして脳トレレクリエーションゲーム等コミュニケーションが図れるよう支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も本人、ご家族へのフォローを行っています。電話連絡、病院へお見舞い、ご家庭へ出向き面会等通じて心のケアを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者が住みやすいように使いたれた馴染みの物を設置する。日常の言葉や行動表情で本人への思いや希望を把握できるように努力しています。困難な場合でも本人の希望優先に家族職員一緒になって考えています。	一人ひとりの思いや意向を、日頃のケアや言動から把握している。気づきを書き留めて、家族にも相談して情報を把握しながら支援している。困難な方は職員や家族の情報から、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントを確認する。本人の思いや望む暮らしを大切に考え支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ひとりひとりの意見を尊重し本人のペースで過ごして頂けるよう支援しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスやミーティング、申し送り等での意見を検討してその人にあったその人らしいケアができるように努めています。また変化を認めた時には直ぐにカンファレンスを実施しケアプランの見直しをして新しいケアプラン作成をしています。	本人や家族の意向を汲み取った上で、主治医の意見も取り入れミーティングで話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、見直しは6ヶ月毎に実施している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態変化の記録やケアの記録その日の様子等ケース記録に記載しています。毎月ミーティングを開催し職員間で意見交換してケアプランの見直や日々のケアに役立てています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者やご家族の要望、突然のアクシデントの時等病院受診の送迎や往診依頼等いつでも必要に応じて支援しています。ご家族の協力や主治医の協力もあり早期発見早期対応に努めています。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防署には年2回消防訓練や救命救急の講習を行ってもらい、民生委員は苦情処理第三者委員、運営推進会議のメンバーになってもらい中高生は体験学習をボランティアとの交流を図る		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みのかかりつけ医にご家族の送迎で通院受診を行い、要望があれば受診に送迎、付き添いしています。また訪問診療、往診いつでも24時間対応して下さる、医療機関との連携を密にとれる体制を整えています。	本人及び家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。通院は家族同行となっているが希望があれば付き添い同行している。協力医療機関の訪問診療や、往診等24時間体制で、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>普段と違う表情動作を感じ病状の早期発見に努めている。日々の情報を看護師と共有し相談指導を受け健康管理、医療との連携を図り本人の生活を支えるよう取り組んでいます。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院退院時には看護師がサマリーによる看護、介護の情報提供を行い病院との連携を図っています。必要に応じて医師との面会をお願いしています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に重度化した場合の指針について十分な説明をし理解してもらっていますが、家族会や面会時に説明し職員はミーティングで終末期のあり方について勉強し、医師・看護師・家族・職員・地域の方々にチームケアで支援しています。</p>	<p>契約時に重度化に伴う対応の指針を説明し、同意を貰っている。ターミナルケアについては、状況変化に伴い本人や家族の意見を随時確認しながら、医師や看護師・職員と共に家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>AEDの講習会、夜間の火災、日中の火災を想定しての避難訓練を消防署の立会のもと実施しています。町内会長、民生委員、地域住民に声かけして参加して頂いています。毎月20日は自主避難訓練を行っています。災害時の水や食料の備蓄もあります。</p>	<p>年2回消防署の指導で昼夜間想定 の避難訓練を実施している。毎月20日は自主避難訓練を実施し避難経路や消火器の点検も行っている。スプリンクラーや緊急通報装置が設置され、年1回は運営推進会議を同日開催して参加している。地域住民の協力体制もできている。災害用の水や乾麺・米・缶等備蓄もしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	会話では敬語を使い、上から視線は決してしないようにし、トイレへの声かけなどはプライドを傷つけないようそっと声かけする。また更衣やトイレ入浴時はプライバシーの保護に気を付けています。	人格を尊重し、プライバシーを損ねないように、トイレ誘導や入浴・おむつ交換等は羞恥心に対する配慮を行っている。言葉づかい等の対応について、ミーティングで研修している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	誕生日行事では本人がどのようにして過ごしたいか？何を食べたい？どこで？誰と？等自己決定してもらい、1年で1番特別の日として思い出に残る誕生日を過ごしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務中心にならないよう本人の希望優先を心がけています。マイペースでそれぞれに好きな事をして頂いたり、職員は一人ひとりの声に耳を傾けて支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご家族の協力を頂き行きつけの美容室へ連れて行って貰ったりその人らしさが保てるようにさりげない声かけを行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>四季の材料を用い季節感を味わいながら、利用者と一緒に準備や配膳・下膳を行っています。食事中は音楽を聴きながらゆっくりと食事を楽しんでいます。</p>	<p>食事が楽しみなものになるように、献立や食事形態を工夫している。菜園でとれた野菜や旬の食材を使い、魚も新鮮な物を拵え、手間をかけて調理している。行事食も多彩であり、おせち料理は、はまぐりを使った吸い物等、好評である。一緒に準備や配膳・下膳をしている。誕生会や季節の行事食・花見など献立を工夫している。口腔ケアも行っている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個人に合わせ主食の量を加減したり、栄養バランスにも気を使っています。水分補給はお茶ポカリや牛乳食思不良の方は栄養補助食品を提供しています。毎月体重測定を行っています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアの声かけ支援を行っています。残歯のある方は歯磨きを行っています。義歯は夜間預かり洗浄後消毒しています。口腔ケア用品は週1回消毒を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し可能な限りトイレでの排泄を支援しています。夜間オムツでも、日中はリハパンで、できれば布パンツ利用を心がけています。	排泄の自立に向けて、トイレでの排泄を支援している。排泄パターンを把握して声かけし、車椅子利用者も日中は2人介助でトイレでの排泄を支援している。リハビリ体操も導入している。食生活を工夫し、自然排便と排泄の自立に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便-3日目の場合は主治医に処方して頂いたお薬を服用しています。食事は食物繊維（野菜類）と乳製品、水分を充分摂取してもらう。トイレでは腹部マッサージを行う。適度な運動を行う等支援しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回本人の希望を聞きながら身体状況に応じてゆっくり楽しみながら入浴して頂いています。	入浴は基本的に週3回であるが、利用者の体調や希望に沿って柔軟に対応している。個々に応じた入浴福祉用具を使ったり、2人介助の時もある。入浴を拒む利用者には、体調を見たり、日を変え、状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活状況に応じ体調や希望に合わせて居室で休息をとって頂いています。夜間良く眠れるように日中は適度な運動やレク活動で心地よい疲労感を支援		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬説明書をファイルに整理しいつでも確認がとれるようにしてあります。主治医の指示のもと状態観察をしっかりと行い誤訳のないよう管理しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外気浴で歌を歌ったり、花を眺めたり、ゲームをしたり、駐車場で歩行訓練をしたりしています。個々の得意な事、生活歴にあった役割が持てるよう支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外気浴、買い物、散歩等希望によりいつでも外出できるよう支援しています。また施設での行事お花見やコスモス見学地域での行事に参加させて頂いたり、ご家族の協力のもと、お墓参り等ご家族と一緒に外に出かけられる事もあります。	日常的には一人ひとりの希望にそって散歩や買い物に出かけ、喫茶店でお茶を楽しんだりしている。計画を立てて初詣や花見・地域行事に出かけている。家族の協力で外出や外食・墓参などに出かける支援も行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族と相談し本人管理して頂いている（少額）方も数名おられます。自己管理できない方は預かり金を保管し外出先で見守りのもと使用し家族に月1回報告しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族や友人に手紙や年賀状を書いて貰っています。職員が代筆する事もあります。時には家族と電話で話す事もあります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	庭で積んできた季節の花を玄関に活けたり行事の時の写真やレク活動で職員と一緒に作った作品を壁に貼ってあります。昔懐かしい音楽をかけてゆったりと聞いておられる方がいたり、大きな声で歌ったり、曲に合わせて踊っておられる方もいたり思い思いに穏やかに過ごされています。	共用空間は換気や採光・湿度・温度に配慮し清潔である。玄関には季節の花が飾ってあり、壁に利用者の抱負を書いた飾り物や、季節毎に作成する作品が貼ってある。畳の間もある。利用者の動きを見わたすことができ、懐かしい音楽を聞きながらソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間に畳の部屋があり、テレビ、ラジカセ、テーブル、ソファ等設置してあり利用者が自由にテレビを観賞されたり、会話を楽しんだり、パズルやゲームを楽しんだりしています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に馴染みのある物を持ち込んで頂き少しでもご自宅に近い雰囲気の中で生活して頂けるようご家族に協力して頂きました。季節ごとに衣類や寝具の調整をしています。</p>	<p>居室はベッドやタンスが備え付けである。寝具やタンス・椅子・ぬいぐるみ・写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、天気の良い日は布団を毎日干している。本人が居心地よく過ごせるよう工夫がなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室の入り口には利用者の名前が書いてあり、トイレ洗面所の方向には矢印で表示し安全に自立生活ができるようにしてあります。ホールや廊下には不要なものを置かないようにし、転倒防止に努めています。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない